

## 金峰山(きんぷさん) 鳥羽健次

[歩程]	4時間55分
[交通費]	3万380円(新宿起点・現地タクシー)
[地図]	金峰山(2万5千) 甲府(20万)

金峰山は、特徴の少ない秩父の山の中では、山頂に岩峰の五丈石(ごじょういわ) ※1 があるので見つけやすく、同定の楽な山である。よって、山好きならいつかこの山に登ってみようと思うのは、自然であろう。

かつては、麓の駅から長いアプローチを経ての登山であったが、現在は、1968年開通した、山梨県山梨市と長野県川上村を結ぶ峰越(みねこし)林道(川上村側は未舗装)を利用して登る近代登山方式である。ここから金峰山に登るルートは一部急な登下りもあるが、ほとんどは緩い登下りの稜線歩きである。



金峰山山頂

今回は、紅葉の季節であるが、このルートにはシャクナゲの群生も所々にあるので、開花の時期ならまた違った楽しみ方もできるだろう。

登山口の大弛(おおだるみ)峠への公共交通機関はないので、車利用か、JR塩山駅からタクシーで入る。 ※2 大弛峠の正規の駐車場は、30台ほどのスペースしかなく、人気の山であることから、休日には、駐車スペース(路上駐車)の確保に、苦労することになるかも知れない。

大弛峠の道を挟んだ国師ヶ岳(こくしがたけ)側には大弛小屋(要予約)があり、前泊、後泊に利用できる。

駐車場の山梨市側には立派なトイレがあり、この先トイレはないのでここで済ませてから出発しよう。

駐車場から道標に従い、水源かん養保安林の針葉樹林に入り、小さな登下りを繰り返してから下ると、かつて南北に道があったという、道標、ケルン、ベンチのある朝日峠(あさひとうげ)に着く。

ここからは、朝日岳への登りである。少し登ると立ち枯れや倒木により南の視界が開けて、頂上に三つの突起を載せた富士山が見えるようになる。

稜線の北側を通り、視界が無くなり登り続けると植生が変わり、黄葉のダケカンバが現れ、そして、樹林を抜けると明るく乾いた露岩の稜線、朝日岳の肩に着く。ここから裾野

## 金峰山付近略図



を大きく広げた富士山はもとより、南アルプスから、北奥千丈岳（きたおくせんじょうだけ）、国師ヶ岳、甲武信ヶ岳（こぶしがたけ）の先まで見渡せる。このコースの中間地点、休憩にも格好の場所である。

休憩を終えたらさらに登り、シャクナゲの群生の間を過ぎて、ようやく五丈石を乗せた山頂を見せた金峰山を、立ち枯れの白木の奥に垣間

見ながら登り切ると、木製の古びた山名標識のある朝日岳山頂に着く。富士山から金峰山の先に南アルプスを一望でき、特に緑の下地に紅・黄の文様をあしらった鉄山（てつざん）から金峰山の山容は、錦絵のごとく見事の一言につきる。

朝日岳からの下りは、露岩を縫っての急斜面、下り切ると広場になっていて、大弛峠への朝日岳の登り返しに備え、多くの人が休んでいる。緩く少し登って、また下ると乱立する立ち枯れの白木の下、幼木の育ってきている見通しの良い場所があり、近くに鉄山から金峰山の稜線が見渡せる。

下りきるとベンチのある鞍部で、ここから鉄山への登りとなる。少し登ると、鉄山の標識が倒壊している場所があり、ここでルートは二つに分かれる。まっすぐ鉄山の山頂を通るルートと、右へ北側をトラバースするルートである。鉄山に向かう人はいないが、せっかくなので、往路は山頂を通るルートに入る。

はっきりした踏み跡をたどり緩く登ると、すぐ山名標識さえも無い鉄山の山頂に着く。付近はシャクナゲの群生地で、一部南に視界が開け、富士山が見える。ここを乗り越して、倒木処理などのされていない踏み跡を下ると、すぐトラバースルートに合流する。

ここからは、金峰山への直接の登りである。視界のない樹林の中を登り、シャクナゲの群生の中を抜け、ハイマツ地帯に出ると視界が広がり、山頂稜線の一部、實（さい）の河原（かわら）の砂礫地に着く。今まで見えなかった緑の小川山（おがわやま）、岩むき出しの瑞牆山（みずがきやま）の先に、八ヶ岳（やつがたけ）が横長に大きく広がって見える。さらに露岩帯を西に進むと山名標識と三等三角点のある山頂に着く。五丈石（金桜（きんおう ※3）神社本宮）の広場に下りると展望盤があるので山座同定が楽しめる。

展望を十分に楽しんだら往路に戻る。途中、鉄山山頂へのルートに分け、朝日岳の急登を終えると一安心。振り返ると今歩いてきた鉄山から金峰山の紅葉の稜線が、往路とはまた違った気分で見ることができるだろう。後はのんびり



金峰山山頂から八ヶ岳（奥）と瑞牆山（右）を望む

大弛峠まで歩くだけだ。

百万ドルの展望が楽しめる山、絶対、晴天確実日に訪れるべきである。

(12年10月14日(日)歩く)

付記 五丈石に登るのは可能だが、中段から上は、岩登りの要素が強くむやみに取り付くべきではない。

## ●コースタイム

塩山駅(タクシー約1時間40分)大弛峠—35分—朝日峠—40分—朝日岳の肩—10分—朝日岳—20分—鞍部—10分—鉄山分岐—10分—鉄山—5分—合流点—25分—賽の河原—10分—金峰山—10分—賽の河原—15分—合流点—5分—鉄山分岐—5分—鞍部—35分—朝日岳—5分—朝日岳の肩—30分—朝日峠—25分—大弛峠

## ●費用

新宿＝塩山 JR特急券とも 3190円

塩山駅＝大弛峠 タクシー 約1万2000円

## ●問い合わせ先

山梨市役所観光課 0553-22-1111

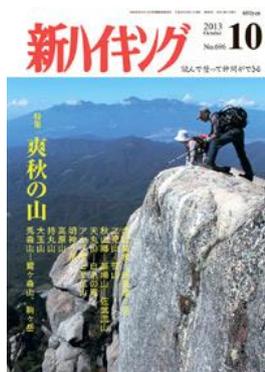
川上村企画課振興係 0267-97-2121

甲府市産業部観光課 055-237-5702

塩山タクシー 0553-32-3200

大地小屋 090-7605-8549 1泊2食付 7000円 ※4

※4月末から11月末と年末年始営業



このページの情報は、新ハイキング社発行の「新ハイキング 2013年10月号」に掲載された記事を、新ハイキング社の許可を得て転載したものです。

掲載当時の文章をそのまま掲載していますので、コースの現況や交通機関等の情報が現在と相違していることがあります。(一部修正箇所は注釈を加筆しています)

実際にコースを歩いてみて、「がけ崩れで通れなくなっている」「コースが付け変わっている」「新しく標識ができている」などの情報がありましたら、山梨市観光協会(山梨市役所観光課内)まで情報をお寄せください。

- ※1 最近は「五丈岩」と記載されることが多いです。
- ※2 平成 26 年より、6 月から 11 月下旬に塩山駅～柳平間に予約制の乗合バスが、柳平～大弛峠間に予約制の乗合タクシーが運行しています。運行の詳細は、栄和交通 0553-26-2344
- ※3 正しくは「かなざくら」
- ※4 平成 28 年 12 月現在の料金は 7500 円。